

子どもの姿		ねらい	行事	長時間保育	地域との関わり	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> ・友だち同士誘いあって遊ぶ姿が多く見られ、穏やかなやりとりができる様になっている。 ・戸外遊びを多く取り入れ、長い距離を歩けるようになった。その時に好きな友だちと手を繋ぎたいとの訴えが増え、並ぶ時間が長くなっている。 ・計測やクッキング等で、自分で着替えをしようとしている。 ・給食では、完食を目指したり、箸に興味を持っている子が増えた。 ・便性が崩れがちなお子が多い。 		<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化に応じて衣服を調節し快適に過ごす。 ・秋の自然を感じ興味や関心を広げて遊びに取り入れることを楽しむ。 ・友だちとのやり取りを楽しみながら、ルールのある遊びを理解する。 ・身の回りの始末など、自分でできるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2日健康診断 4日バス遠足 11日避難訓練 12・26日 英語で遊ぼう 17日歯科健診 24日幼児集会 29日運動会リハーサル 30日天王町公園練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・気温の変化が大きくなるので室温や衣服の調節に気を配る。 ・甘えや寂しさをスキンシップなどで寄り添う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園などでは一緒に遊具を共有する等を楽しく関わる。 ・戸外活動の時に挨拶を交わす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの事はできるようになってきたが、それぞれ自分のペースがあり、全体的に待つ時間が長くなってきている。 ・先に終えた児が待っている感覚が少なくなるように、絵本を読み聞かせたり、手遊びをする等して、時間の誤差を縮めていきたい。 ・友だちと仲良くなり、独占欲が芽生えてきていて、一方的に友だちの誘導をしている時がありトラブルの原因となっていた。 ・相手の気持ちを考えたり、譲ることや順番を守ることの必要性をその都度伝えていきたい。 ・天気の良い日には、戸外に出かけることができた。 ・秋の遠足も保護者と別行動でスムーズに過ごす事ができていた。
内容		環境構成	保育士の配慮		取り組みの状況と保育士の振り返り	
<p>養護(生・情)教育(健・人・環・言・表)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変わり目で体調を崩しやすい時期なので、一人一人の体調の変化に留意する。 ・身体を動かすことが増えるので、休息もしっかり取れるようにする。 ・思ったことを自分なりの言葉や態度で表せるようにする。 ・戸外で身体を十分に動かして遊ぶ。 ・気温や活動に応じて衣服の調節を自分でしようとする。 ・遊具や玩具の貸し借りをしながら遊んだり、順番を待ったりすることの大切さを知る。 ・簡単なきまりを守って遊ぶ。 ・散歩や園庭で草花や虫などに触れながら、秋の自然を楽しむ。 ・身の回りにある色や形、数などに興味を持つ。 ・遊びの中で自分の気持ちを言葉で表現するとともに相手の気持ちにも気付く。 ・遊戯曲や音楽に合わせて踊ったり体操をしたり歌うことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・室温や湿度、衣服の調節に気を配り、子どもからも体調を訴えやすいような雰囲気にする。 ・休息ができる場所や時間を確保する。 ・自分でするという意欲を大切にしながら見守ったり援助したりする。 ・安全面に十分に気を付ける。 ・自分で衣服の調節ができるよう取り出しやすいところに置き、汚れ物等の確認をする。 ・友達と一緒に楽しめる簡単なルールのある遊びを取り入れていく。 ・秋の草花や虫を探したり観察したりできるよう戸外へ出掛ける。 ・子どもたちの思いをしっかり受け止め、向き合せて話を聞く。 ・季節に合った曲や子どもたちに馴染みのある曲を準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の様子をよく観察し、体調の少しの変化も見逃さないようにし、子どもにもこまめに声をかけていく。 ・午睡時間などは、ゆったりと落ち着いた雰囲気にする。 ・頑張っている姿を認め、褒めたり応援したりして自信へと繋げていく。 ・様々な活動ができるように、場の安全確認を行い、環境を整えたり遊びに誘ったりする。 ・身の回りのことを自分でしようとする気持ちを大切にしながら適切な助言をする。 ・子どもと一緒にルールを確かめ、友達と一緒に遊ぶ楽しさや満足感を味わえるようにする。 ・子どもの発見や気付きに共感しさらに興味や関心が深まるようにする。 ・木の実や葉っぱの色や形を見たり数えたりする。 ・自分の思いや考えを伝えようとする姿を見守り、うまく伝えられないときは援助する。 ・保育者も子どもたちと共に楽しんで踊ったり、体操をしたりする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの体調管理に留意して、朝の受け入れ時に保護者から様子を丁寧に聞くようにした。また、担任間でも連携を図り、必要に応じて外あそびを控えたり、冷えた牛乳をお茶に変更をする等、十分な配慮を行うことができた。 ・午睡時間は、ゆったりした環境を作り、保育士が側について安心して入眠ができるようにした。引き続き、スキンシップを図りながら心地よく眠りにつける様にしていきたい。 ・クッキングのエプロンや三角布、上着の着脱など、時間を多く取ってゆっくり取り組める様に配慮をした。そのことにより、自分でやろうとしたり、友だちを手伝っている姿が見られていた。 ・戸外遊びでも、子ども同士で安全に遊べるようになってきている。友だちを誘ったり、何で遊ぶのかを決めて相談し合ったりなど、楽しく遊びを展開している。ルールが必要だったり、理解が難しい子には引き続き他児とのやりとりが楽しく持続できる様に、必要に応じて仲立ちとなっていく。 ・草花や昆虫を見つけて喜んでいるので、今後も園外に出る機会を多く取り入れて自然の移り変わりや、昆虫や木の実などに触れていく。 ・特定の友だちを選んで誘い、歩いたり遊ぶ姿が見られる様になってきた。子ども達の気持ちを尊重しながら、色々な友だちと関わる機会も増やしていく。 	
	<p>食育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の下処理の手伝いを通して食材に興味を持つ。 ・おにぎりを自分で握るなどの作って食べる楽しさを味わう。 ・食具の使い方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下処理の必要な野菜の用意をする。 ・調理と相談し簡単なクッキングを始める。 ・給食時に何膳か箸の用意をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生的に行えるよう手洗いの徹底を呼びかけ、どんな料理になるか楽しみになるように働きかける。 ・調理と相談して、箸の持ち方のお話に来てもらったり、絵を貼ったりする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな食材に興味を持てるようになってきている。 ・栄養士や調理師が、給食と一緒に食べる機会が多く、作り方や食材についての質問など貴重な話ができていた。 ・クッキングの他に野菜の下ごしらえを行うと、とても張り切って取り組んでいた。引き続き、月に何度か行っていきたいと思う。 	